

新宿には多くの画家が住み、特に落合の地域には洋画家の佐伯祐三・米子夫妻や中村彝、曾宮一念らをはじめ画家たちが住居・アトリエを構えました。落合は、江戸時代から自然豊かな場所としてその名が知られていました。時代が変わり、明治時代になると川沿いに工場が建てられ、大正時代には住宅地の側面が強くなりませんが、郊外の雰囲気を残し、絵になる風景が多いこの地に、画家たちは拠点を置いたのです。池袋モナルナスが誕生すると、その画家たちとの交流も生まれます。落合の他にも、牛込に生まれた藤田嗣治や西新宿に住んだ三宅克己など、新宿の各地に画家たちが住みました。人や風景と出会い、日々を過ごし、絵を描く。その営みが新宿にあったのです。



佐伯祐三が曾宮一念に贈ったイーゼル

関連講演会 佐伯祐三と妻・米子

パリや下落合の風景を描いた佐伯祐三とその家族や、近年見直されている「下落合風景」の意義などをお話します。

日時 5月13日(土) 14:00～16:00
(受付は13:30～)

会場 新宿歴史博物館 2階講堂

講師 守谷賢一(新宿歴史博物館館長)

定員 90人(多数抽選)

料金 500円

締切 4月26日(水) 必着

問合せ 新宿歴史博物館 Tel 03-3359-2131

申込 往復はがきに講座名・住所・氏名・電話番号・メンバーズ倶楽部会員の方は会員番号を明記の上、新宿歴史博物館へ。1応募につき1名。当館ホームページからもお申込みできます。

※申込み開始は4月5日(水)～



堀潔「逆光の日本聖書神学校本館」昭和38年(1963)



平塚運一「萬葉 山椿の歌」昭和17年(1942)
©Succession of Un-ichi HIRATSUKA & JASPAR, Tokyo, 2023 E5109



三宅克己著『水彩画手引』博文館発行 明治42年(1909)



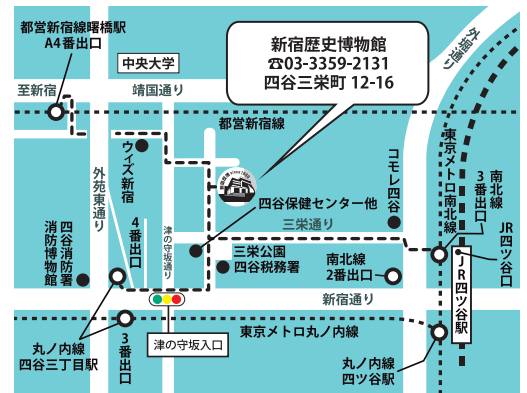
佐伯米子 スケッチ帳



林緑敏「下落合風景」昭和10年(1935)頃

会期：令和5年4月22日(土)～6月11日(日)
開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで)
休館日：4月24日(月)、5月8日(月)・22日(月)
会場：新宿区立新宿歴史博物館 地下1階 企画展示室
主催：公益財団法人新宿未来創造財団
観覧料：無料

※関連イベントについては博物館ホームページをご覧ください。



□ JR 東京メトロ丸の内線・南北線「四ツ谷駅」下車……徒歩10分
□ 東京メトロ丸の内線「四谷三丁目駅」下車……徒歩8分
□ 都営地下鉄新宿線「曙橋駅」下車……徒歩8分